

# 向日市 広報

### まちのうごき

(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数 16,055世帯	生れた人 56人	
人口 50,835人	亡くなった人 15人	
男 25,163人	転入した人 300人	
女 25,672人	転出した人 228人	

## 春 頌



新成人と「あすの向日市」を語る

左から民秋市長、吉田明弘さん、五十櫻博美さん

## 心のふれあうまちづくりめざして

向日市長 民秋徳夫



あけましておめでとうございます。一九八一年の新春を市民のみなさんには、ご家族おそろいでお迎えになったことと心からお喜び申し上げます。

私は、市政を担当させていただいて以来、一貫して清潔で明るい市民本位の市政確立をめざして、向日市発展のため、誠意と勇断をもって最大の努力をまいりました。

これひとえに、市民のみなさんの日頃の市政に対するご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

願ひみますと、昨年は八十年代の幕明けの年でありましたが、私たちの暮らしをとりまく情勢は、資源問題をはじめとして、終始きびしく、本市の財政運営もまたきびしい状態におかれました。

その中であって、多くの市民のみなさんのお力添えにより第6向日陽小学校の開校、市民の生命を守る防災の砦としての消防新庁舎、また地域コミュニティの場として鶏冠井、上植野公民館の建設に着手し、一方では、五万市民が気軽に口ずさめる、心のふれあいを求めた「市のうた・音頭」をつくることのできましたことは大きな喜びでした。ここに厚くお礼申し上げます。

しかし、不透明の時代といわれる八十年代、私たちをとりまく経済状況は、長びく不況・雇用不安と、ますますきびしさを増しつつあります。本市の財政事情もまた、財政基盤のひ弱さにより、深刻な財政悪化に直面しております。

そのため、昨年末、「向日市財政健全化計画」を策定し、財政構造改善のため、すでに庁内の業務の再点検はいうまでもなく、経費の節減体制づくりに努めており、財政危機打開に全力をあげています。

財政危機だからといって、市民サービスを低下させてはなりません。地方の時代といわれる今日、福祉・公害・教育・生活環境など市民のみなさんからの要請にこたえるため、何が市に必要であり、何が市を発展させるかを十分見きわめながら、特色あるまちづくりを進めていくのが私の使命です。

市政をとりまく環境は、ことしもなお一層きびしい状態が続くと予想されます。しかし、私の基本理念である、市民憲章の精神を生かし、心のふれあいを大切にした施策を市民と行政が一体となつてすすめて、住みよいまちづくりにまい進していきたいと思ひます。

ことしはまた、国際障害者年にあたります。私としまして「愛とふれあいの地域社会」をめざして、障害者福祉の向上に積極的に取り組んでいきます。

市民のみなさんに「向日市に生まれてよかった」「向日市に住んでよかった」と喜んでもらえるよう、来たるべき二十一世紀をめざす新しいいまちづくりに、精いっぱい奮闘していきたいと存じます。

年の始めにあたり、市民のみなさんのご多幸とご健勝を切にお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。